

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26) について

令和8年5月
防衛省

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26)について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目

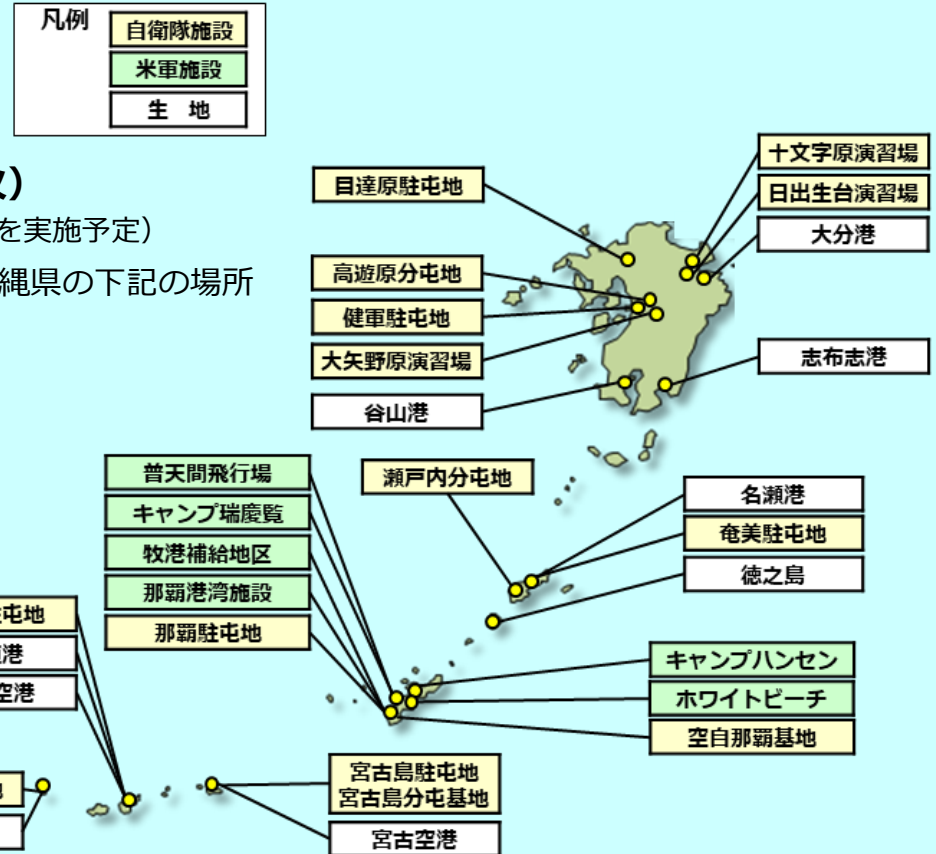
【訓練の実施場所及び期間】

➤ 訓練期間：令和8年6月20日（土）～30日（火）

（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

➤ 訓練実施場所：大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

- ・大分県：陸上自衛隊日出生台演習場、
陸上自衛隊十文字原演習場、
大分港
- ・佐賀県：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・熊本県：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・鹿児島県：志布志港、谷山港、
陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島
- ・沖縄県：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、石垣空港、石垣港、与那国空港



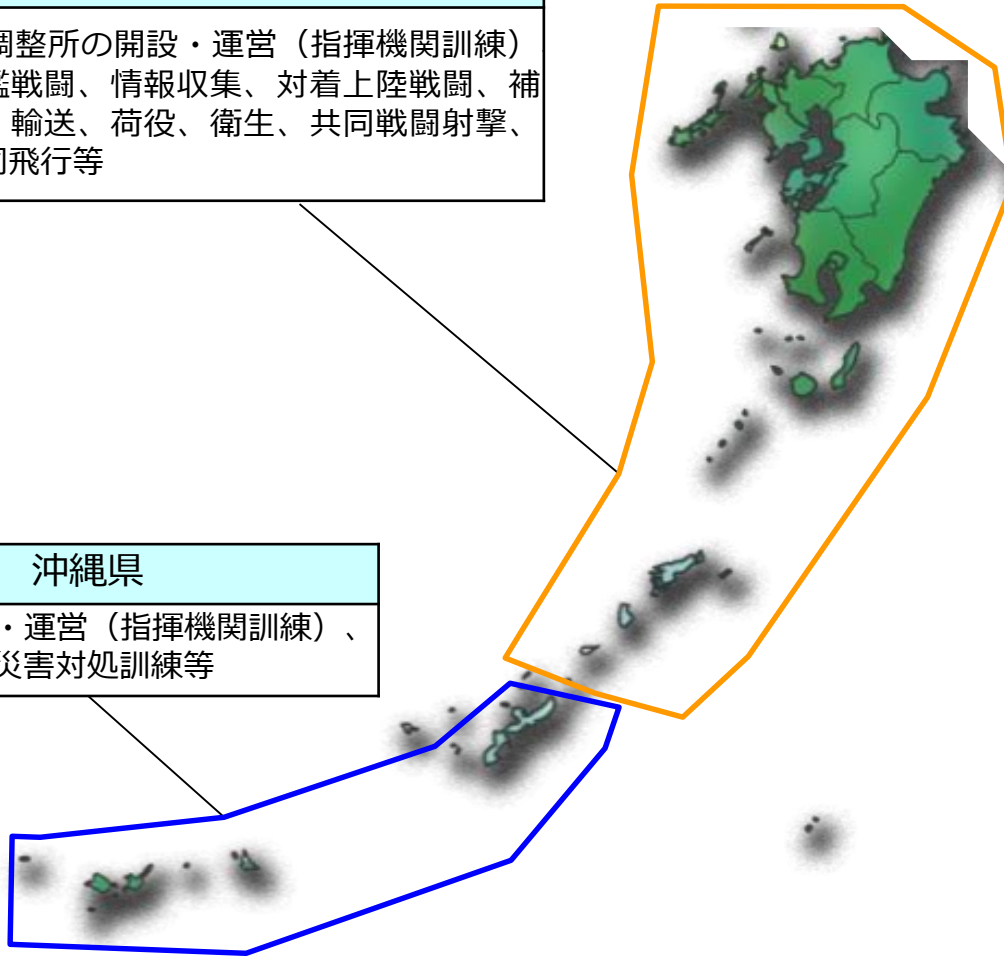
レゾリュート・ドラゴン26における訓練内容等（基準）

九州
(大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県)

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）
対艦戦闘、情報収集、対着上陸戦闘、補給、輸送、荷役、衛生、共同戦闘射撃、共同飛行等

沖縄県

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）、
災害対処訓練等



十文字原演習場の使用について

大分県

十文字原演習場においては、日米共同による対着上陸戦闘訓練、共同補給訓練、共同衛生訓練(患者後送等)、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和8年6月20日(土)～30日(火) ※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約130名(陸上総隊、航空学校、補給本部、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊、第8後方支援連隊、第8飛行隊等、AH-64×4機程度、AH-1×2機程度、OH-1×2機程度、CH-47×4機程度、UH-60×9機程度、V-22×2機程度等)
- 米 軍：米海兵隊・米海軍 約50名(第1海兵航空団、海兵航空支援部隊、第35戦闘兵站連隊、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、CH-53×4機程度、MV-22×4機程度、MH-60×1機程度等)

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。



場所は細部計画中

訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



駐機・燃料補給・整備等



共同補給訓練

